

## 没後50年 浪華の女性画家 島成園

2020年4月11日(土)ー5月10日(日)

島成園(1892-1970)は、堺に生まれ大阪を中心に活躍した女性日本画家です。弱冠20歳で第6回文展に入選するなど早くから頭角を現し、さらには「美人画」の領域を越えた衝撃的な作品を発表して注目されました。当館には、画家本人および遺族から寄贈された88件の作品が所蔵されています。没後50年にあたり、それらの作品を通して成園の画業を振り返ります。大正期の大阪を駆け抜けた女性画家の輝きをご覧ください。

### ●記念講演会

4月25日(土) 午後2時-3時30分

テーマ:「島成園の作品と生涯」

講師:小川知子氏(大阪中之島美術館準備室 研究副主幹)

会場:大阪市立美術館 講演会室

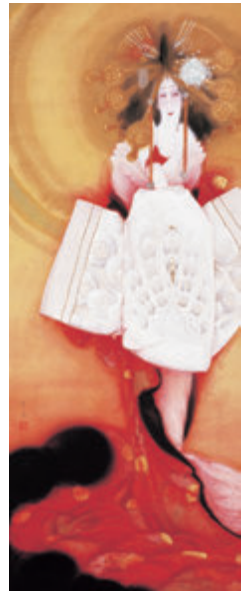
定員:150名(先着順)

※申込不要、聴講無料ですが、当日の観覧券が必要です。

講演会当日の午後1時30分から整理券を配布します。

(左) 島成園《無題》大正7年(1918) 本館蔵(森本美津子氏寄贈)

(右) 島成園《伽羅の薫》大正9年(1920) 本館蔵(島成園氏寄贈)



## コレクション展

### おおさかの仏教美術3

2020年5月12日(火)ー6月14日(日)

当館は開館以来、近畿をはじめとする寺社よりご宝物をお預かりしています。「おおさかの仏教美術」と題したこのシリーズ企画では、そうした寄託品のなかから、特に大阪府下の寺社よりお預りしたご宝物を中心に展示します。

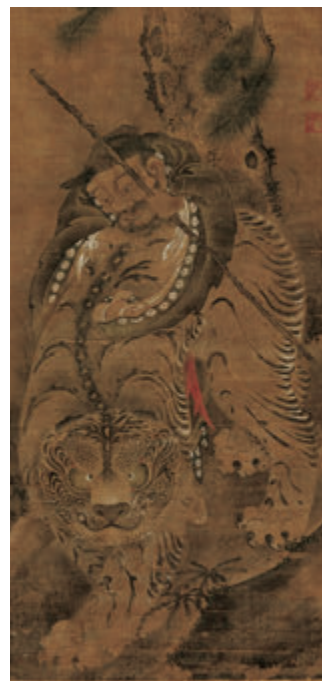
寺社は人々の心のよりどころであると同時に、文化財保護の担い手としても重要な役割を果たしてきました。長い年月、この地で守り継がれた尊きものたちの姿をご覧ください。



重要文化財《当麻曼荼羅》(部分) 鎌倉時代・14世紀 大阪・実相寺

### 鳥獣草木 — 中国・朝鮮王朝の絵画

2020年5月12日(火)ー6月14日(日)



作者不詳《豊干禅師図》  
朝鮮王朝時代・17-18世紀  
本館蔵(田万コレクション)

画中にみる動植物は、身近な観察を通して描かれた親しみある姿、あるいは豊かな想像力によって神秘的な力を宿した姿など多様にあらわされてきました。本展では、日本の絵画とゆかりの深い中国や朝鮮王朝時代の作例をご紹介します。多彩な生命の表情をお楽しみください。

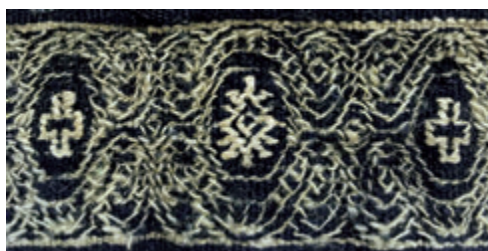
### 古代エジプト コプトの美術

2020年5月12日(火)ー6月14日(日)

コプトとは、エジプトにおけるキリスト教者、コプト教徒のことです。3世紀から12世紀頃にかけて、彼らは地中海文化の影響を受けた文様で衣類などを飾りました。本展では館蔵・寄託の染織や建築装飾を通して、コプトの美術をご紹介します。



《人面葡萄唐草文浮彫壁材》  
コプト 5-7世紀 本館蔵



《燃縄十字文綴織袖飾裂》(部分)  
コプト 7-8世紀 本館蔵